

新羽高校の校長が受検生のために作った新聞

羽ばたきの丘通信

令和6年5月29日 第4号

編集・発行 新羽(につば)高校校長 勝股 正

「全公立展でお会いしましょう」

神奈川県の高校入試シーズンの始動（スタートアップ）ともいうべき「全公立展」。今回は、全公立展から始まる、中三生の皆さんの「高校選び」のポイントについて、高校の校長の立場からお話をしたいと思います。

2025 年高校入試のスタートアップ（始動）イベント

神奈川の中三生の皆さんは、学校で先生から『全公立展』や『全私学展』などが開催されることを聞いていると思います。

「〇〇展」といっても、絵の展覧会のように、静かに展示を見て回るようなものではなく、来場者が各学校のブースを廻って、学校案内などのパンフレットを受け取ったり、質問をしたりできるものです。



去年の様子（神奈川新聞社のHPより）

全公立展は、神奈川新聞社の主催で開催されるもので、県の教育委員会や県私立中学高等学校協会などで構成された「神奈川の高校展実行委員会」が行う事業「神奈川の高校展」のスタートアップ（始動という意味）イベントとして位置づけられています。

文字通り、神奈川県高校入試に向けた学校選びがここからスタートするわけです。

このイベントは、20年近く前から開催されていて、その頃から、まだ教員だった私も参加していました。コロナで3年間中断しましたが、昨年4年振りに復活し、3万人の来場がありました。

｜ 予約申込みは6/5(水)10時から

コロナ前は、予約不要だったこともあり、パシフィコ横浜という巨大なイベント会場が来場者で一杯になり、入場制限がかかって、会場の外に入場待ちの長い行列ができたものですが、コロナ後からは、完全予約制になりました。



そのため、昨年は予約満杯になってしまっていて参加できない方も出たようです。

今年度は、6月5日

(水) 10時から予約開始

ということですが、今年も早い段階で予約満杯になってしまうかもしれません。

全公立展の主催は、神奈川新聞社で（したがって、全公立展についての情報は、[神奈川新聞社が設けているこのサイト](#)が一番早く、正確です）、高校は一出展者という立場に過ぎませんが、もし予約ができずに参加できない方が出ましたら、申し訳なく思います。

8月に公私合同説明・相談会も開催 します

ただ、8月には、県内各地で公私合同説明・相談会があります。

全公立展が、県内の公立高校が一堂に会するのに対して、公私合同説明・相談会は、12地区に分かれての開催です。

公立高校は一校につき一会場しか参加できませんから（私立高校は、複数会場に参加します）、中学生の皆さんは何か所も行かなければならないかもしれませんが、各校の展示内容や説明は、全公立展と公私合同説明・相談会でそれほど差はないと思いますので、全公立展に行けなくても、公私合同説明・相談会

に行けば、高校の情報は得られると思います
(ただし、公私合同説明・相談会も、予約制
ですので、早めの申し込みをおすすめしま
す)。

新羽高校校長がおすすめる、高校選 びのポイント

毎年、中学校から校内高校説明会を行うので
高校から説明に来て欲しいと依頼されることが
あります。

そうした説明会には、できるだけ校長である
私が伺うようにしています。

そのときにお話しすることが多いのが、「校
長がすすめる高校の選び方ポイント」です。

新羽高校校長が薦める高校の選び方ポイント

1 実際にその高校に行ってみる

通学方法はどうか、学校の周囲の環境はどうか

2 その高校の校長の話を聞く

教育方針は？ 校風は？ 何をめざしている学校なのか

3 行事を見学する、体験してみる

生徒の生の姿を見る

私が、学校説明会等で必ず言っているのが、「行ける学校を選ばないでください、行きたい学校を選んでください」ということばです。

入学試験がありますから、自分の成績・学力でどの学校に合格できそうかと考えることは必要です。しかし、合格可能性だけで学校を選ぶのではなく、自分が学びたい、入りたいと思った学校を選んでいただきたいと強く思

います。なぜ、私がそのことを強調するのは、[「羽ばたきの丘通信」第2号](#)に書きましたので、それをお読みください。

自分が行きたい学校なのかどうかを判断するための材料集めのポイントがこの三カ条なのです。

｜ 実際にその高校に行ってみましょう

「実際にその高校に行ってみる」は、中学までは徒歩通学が多かった方たちにとって、毎日の通学がどうなるかを知るという意味でも、とても大切なことだと思います。学校の周辺の環境を確認することも重要でしょう。

入学願書の提出が web によることになったことで、入学試験当日に初めてその学校に行き、道に迷いそうになってしまうかもしれません。

是非、自分の足で高校に行ってみてください。

その高校の校長の話を聞いてみましょう

「校長の話を聞く」というのは、必ずしも「校長」でなければいけないというわけではありません。

その学校の先生など、学校についてよく分かっている方から、教育方針や生徒の様子、そ

の学校がめざしていることなどの話を聞いて欲しいのです。

SNS などネット上では、学校の評判や噂がたくさん書き込まれていたりしているようですが、なかには無責任な、根拠のない話もあると思います。

それらを鵜呑みにせずに、直接、その学校の先生など信用できる人から話を聞いていただきたいと思います。

その学校の行事を見学したり、体験行事に参加したりしましょう

どの学校も、文化祭などの学校行事を公開したり、体験授業や体験部活動を実施したりしています。

行事を見学したり、体験行事に参加する際に、在校生を見かけたり、場合によっては話をしたりする機会があると思います。

在校生の様子を見ることで、学校の雰囲気もよくわかると思います。

夏休み終了まではなるべく多くの学校の資料集め

以上、三つのポイントを踏まえて、夏から冬にかけての学校選びのスケジュールを考えてみたいと思います。

夏休み終了までは、幅広く色々な学校の資料集めをしてください。

そして、全公立展や公私合同説明・相談会でもらった学校案内などのパンフレットは、家に持ち帰ってそのままにするのではなく、必ず取り出して、読み比べてみてください。

新羽高校もそうですが、中学生の皆さんに向けて、学校案内にどんなメッセージを込めよ

うか、毎年、頭をひねりながら心を込めて作成します。

是非、学校案内を読み込んでください。

夏休みには、体験行事や施設見学・学校見学（学校の施設を案内してくれる行事）を行っている学校も多いと思います。

例えば、新羽高校では、7月30日（火）に「新羽 **trial**（トライアル）」という部活動体験行事を行います。

部活動体験のあとには、自由参加で、校長による「ミニ学校説明会」も実施する予定です。

9～11月に各学校の学校説明会に参加

夏休みが終わると、各中学校とも定期試験が実施されて、3年次の仮の成績が出るのではないのでしょうか。

それをもとに、夏休みに情報収集しておいた、「行きたい学校」の候補のなかから、いよいよ自分の志願する学校を絞り込んでいきます。

通常、各学校とも秋（9～11月）に、学校説明会を計画しているところが多いと思います。

そこで話を聞いたり、見たりすることで、どんな雰囲気の学校か、何に力を入れている学

校か、パンフレットだけではわからない様々なことが分かると思います。

｜ 高校の先生から話を聞くことの大切さ

ユニティという横浜市内にある塾の塾長先生が、ブログに、全公立展に参加するときにはただパンフレットを受け取るだけでなく、高校の先生と話すことが大切だ、なぜかという
と、高校の先生と直接話すことで、その人の学校選びの力が増すからだ、と書かれていました。

私も同感です。

現在、新羽高校の3年生は、自分の進路選択に向かって努力したり悩んだりしています。

助けてあげたい気持ちは山々ですが、本人が自分の力で自分の人生を切り拓いていかなければいけないと思います。そして、卒業時、自分の希望する進路選択を成し遂げた生徒は、一回りも二回りも成長して学び舎を旅立っていきます。

多分、中学校3年生の人たちも同じことなのだと思います。多くの受検生にとって、高校選びは、生まれて初めて自分で人生の選択をする経験かもしれません。

全公立展はじめ、さまざまな説明会場の、新羽高校のコーナーにおいでの方は、「質問です」でも、「説明してください」でも何でもかまいませんので話しかけてきてください。

新羽高校のことをより深く知ることができるだけでなく、学校選びを通して、あなた自身を成長させることにつながると 생각합니다。

編集後記

年度当初の予定にはありませんでしたが、新羽高校は、[オンライン高校合同説明会](#)に参加することになりました。7月13日（土）10時から10時20分を予定しています。詳しいことは、本校公式ホームページや、公式x（旧ツイッター）で発表します。どうぞよろしくお願ひします。